



2024年9月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年10月31日

上場会社名 ホウライ株式会社 上場取引所 東
コード番号 9679 URL <https://www.horai-kk.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 寺本 敏之
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務企画部長 (氏名) 三野 眞 TEL 03-6810-8117
定時株主総会開催予定日 2024年12月23日 配当支払開始予定日 2024年12月24日
有価証券報告書提出予定日 2024年12月23日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期の業績 (2023年10月1日～2024年9月30日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期	5,480	5.7	571	8.3	724	△2.7	308	△40.0
2023年9月期	5,185	5.0	527	18.9	744	9.1	513	8.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	営業収益 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年9月期	220.66	—	3.3	3.7	10.4
2023年9月期	367.48	—	5.8	3.9	10.2

(参考) 持分法投資損益 2024年9月期 ー百万円 2023年9月期 ー百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期	19,799	9,379	47.4	6,718.62
2023年9月期	18,853	9,104	48.3	6,521.48

(参考) 自己資本 2024年9月期 9,379百万円 2023年9月期 9,104百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年9月期	734	△1,080	173	2,320
2023年9月期	657	△502	△362	2,492

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年9月期	—	0.00	—	60.00	60.00	83	16.3	0.9
2024年9月期	—	0.00	—	66.00	66.00	92	29.9	1.0
2025年9月期(予想)	—	0.00	—	22.00	22.00		20.5	

(注) 当社は、2025年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合で、株式分割を行う予定であるため、2025年9月期(予想)の1株当たり年間配当金につきましては当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。また、当該株式分割による1株当たりの年間配当金については実質的な影響はございません。なお、株式分割を考慮しない場合の2025年9月期(予想)の1株当たり年間配当金は66円となります。詳細につきましては、本日公表の「株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2025年9月期の業績予想 (2024年10月1日～2025年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,800	5.8	550	△3.7	650	△10.3	450	46.1	107.44

(注) 当社は、2025年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施する予定であるため、2025年9月期の業績予想(通期)における1株当たり当期純利益については、株式分割の影響を考慮しております。また、当該株式分割による1株当たり当期純利益については実質的な影響はございません。なお、株式分割を考慮しない場合の2025年9月期の業績予想(通期)における1株当たり当期純利益は322円33銭となります。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期	1,404,000株	2023年9月期	1,404,000株
② 期末自己株式数	2024年9月期	7,901株	2023年9月期	7,901株
③ 期中平均株式数	2024年9月期	1,396,099株	2023年9月期	1,396,119株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の背景等につきましては、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 財務諸表及び主な注記	7
(1) 貸借対照表	7
(2) 損益計算書	10
(3) 株主資本等変動計算書	11
(4) キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(会計方針の変更)	14
(会計上の見積りの変更)	14
(持分法損益等)	14
(損益計算書に関する注記)	14
(セグメント情報等の注記)	15
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が期待される中、緩やかに回復しました。個人消費は足踏みしつつも持ち直し、企業収益も総じてみれば改善しました。一方で、世界的な金融引締めや中国経済の先行き懸念等、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなり、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等から、不透明な状況が続きました。

このような状況下、当社は各事業がそれぞれの特性に応じた施策の推進に努めました。

当事業年度の経営成績は、営業収益につきましては、保険事業、不動産事業、千本松牧場は前期を上回りましたが、ゴルフ事業は前期を下回り、全体では5,480百万円（前期比294百万円増）と前期比増収となりました。営業総利益につきましては、保険事業、不動産事業、千本松牧場は前期を上回りましたが、ゴルフ事業は前期を下回り、全体では1,295百万円（前期比78百万円増）と前期比増益となりました。この結果、一般管理費も723百万円（前期比34百万円増）と前期を上回りましたが、営業利益は571百万円（前期比43百万円増）と前期比増益となりました。経常利益につきましては、営業外収益に計上したゴルフ会員権消却益が125百万円（前期比75百万円減）と前期を下回ったことを主因に、724百万円（前期比20百万円減）となりました。また、ゴルフ事業の収益性低下に伴い同事業用の固定資産の価値を見直し、特別損失に減損損失321百万円を計上しました。この結果、当期純利益は308百万円（前期比204百万円減）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりです。

①保険事業

リスク管理の専門家としての強みを活かして、お客様に寄り添ったコンサルティングを推進するとともに、リスク管理パートナーとしての総合提案力の深化や、継続的な成長を実現し得る組織・体制の強化に努めました。営業収益は、生命保険分野では新たにいただいたご契約の減少を主因に前期を下回りましたが、損害保険分野では期日を迎えるご契約の更改が順調に進んだことに加えて新たなご契約も数多くいただいて前期を上回り、全体では1,179百万円（前期比27百万円増）となりました。営業原価は適正な経費コントロールにより前期を下回り、営業総利益は478百万円（前期比60百万円増）となりました。

②不動産事業

テナント様・入居者様に「安心安全」かつ「快適」な空間のご提供に努め、所有不動産の入居率はほぼ満室状態で安定的に推移しました。2023年11月に取得したユージェデンス西大井の賃料収入寄与もあり、営業収益は1,277百万円（前期比65百万円増）となりました。営業原価は物件取得に伴う経費増等を主因に前期を上回り、営業総利益は760百万円（前期比24百万円増）となりました。

③千本松牧場

観光施設においては、各種メディアを通じた牧場プロモーションや団体のお客様の誘致に引続き注力するとともに、季節を感じていただける装飾やイベント、お子様向け遊具エリアの拡大等、ご来場者様により「安心安全」に、一層お楽しみいただける牧場づくりに努めました。ご来場者数は前期を上回って新型コロナウイルス感染拡大前の2019年9月期の9割程度にまで回復し、前期比増収となりました。

2023年12月に着工した新しいレストラン・売店棟は2024年9月に完成し、2024年10月にリニューアルオープンを迎える運びとなりました。また、2024年4月には牧場外で4店目となるソフトクリームショップを群馬県太田市のイオンモール太田に開店し、お客様から好評をいただいて順調に売上を伸ばしております。

外販営業はギフト商社向けの減収を主因に前期比減収となりました。引続きソフトミックスの卸売りや、東京駅構内での当社製品の販売等、他社との協業にも積極的に取り組んでおります。

酪農は搾乳牛頭数、搾乳量ともに減少しましたが、乳価改定等により前期比増収となりました。

この結果、営業収益は全体で2,249百万円（前期比255百万円増）となりました。営業原価は変動費の増加や施設のリニューアルに伴う費用計上を主因に前期比増加し、営業総利益は134百万円（前期比59百万円増）となりました。

④ゴルフ事業

SNSやメール配信システムを積極的に活用して情報発信に力を入れるとともに、魅力ある平日プランのご提供、会員様へのサービスの充実、大学ゴルフ部の合宿誘致、地元の企業様へのアプローチ等で、より多くの方にご来場いただけるよう努めました。また、ご来場いただいたお客様に、より楽しく快適にお過ごしいただけるよう、コースの醍醐味や楽しみ方をご案内するタブレット端末の設置、食事メニュー・レシピの改善、外部講師研修による接遇の向上等に取り組みました。

ゴルフ場の基盤であるコースコンディションの維持・向上につきましては、充実したコース整備計画を策定して年間を通じて取り組み、ご来場いただいたお客様に一層お楽しみいただけるコースのご提供に注力いたしました。

2024年6月には、西那須野カントリー倶楽部において4年連続となる男子プロトーナメントが開催され、参加された男子プロからゴルフコースを高く評価いただくとともに、ネット配信等を通じて、我が国有数のゴルフ場

としての認知度を更に高めることができました。

営業収益は、料金改定の影響等によるご来場者の減少を主因に前期を下回り、773百万円（前期比54百万円減）となりました。営業原価はコース整備関連機器の更新や施設改修に係る費用の増加を主因に前期を上回り、営業総損失は77百万円（前期比65百万円悪化）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末の流動資産は3,122百万円となり、前期比659百万円減少しました。これは主に現金及び預金が減少したことによるものです。固定資産は16,677百万円となり、前期比1,605百万円増加しました。これは主に有形固定資産の増加によるものです。

この結果、総資産は、19,799百万円となり、前期比945百万円増加しました。

(負債)

当事業年度末の流動負債は1,771百万円となり、前期比531百万円増加しました。これは主に未払金の増加によるものです。固定負債は8,647百万円となり、前期比139百万円増加しました。これは主に長期借入金の増加によるものです。

この結果、負債合計は、10,419百万円となり、前期比670百万円増加しました。

(純資産)

当事業年度末の純資産合計は9,379百万円となり、前期比275百万円増加しました。これは主に当期純利益の計上によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物は、前期比172百万円減少し、2,320百万円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税引前当期純利益525百万円を主因に734百万円の収入（前期は657百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出△2,274百万円を主因に1,080百万円の支出（前期は502百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入れによる収入500百万円を主因に173百万円の収入（前期は362百万円の支出）となりました。

キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年9月期	2023年9月期	2024年9月期
自己資本比率	45.5%	48.3%	47.4%
時価ベースの自己資本比率	22.1%	24.4%	34.5%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	4.8年	4.3年	4.3年
インタレスト・カバレッジ・レシオ	20.6倍	22.5倍	23.8倍

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

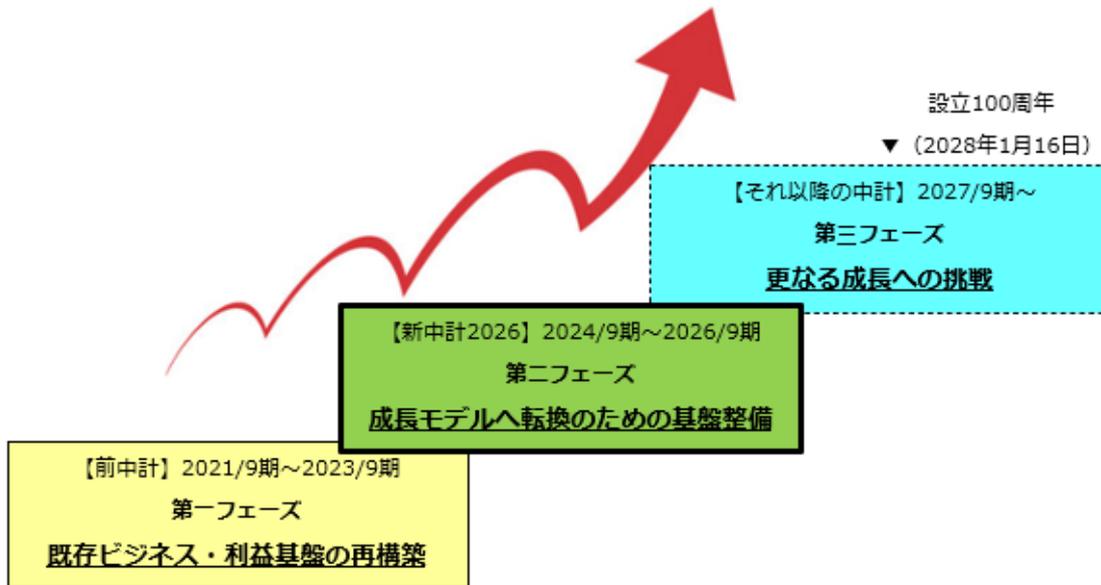
(注) キャッシュ・フローは、キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いは、キャッシュ・フロー計算書の利息支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

当社は、「**三つのフェーズの成長プロセス**」に基づいて中期経営計画を策定し、具体的な施策を着実に実行していくことで、「健全経営の基盤強化と永続的で強靱な経営体質の構築」を目指しております。

持続的な企業価値向上に向けた成長プロセス (再構築～基盤整備～更なる成長)

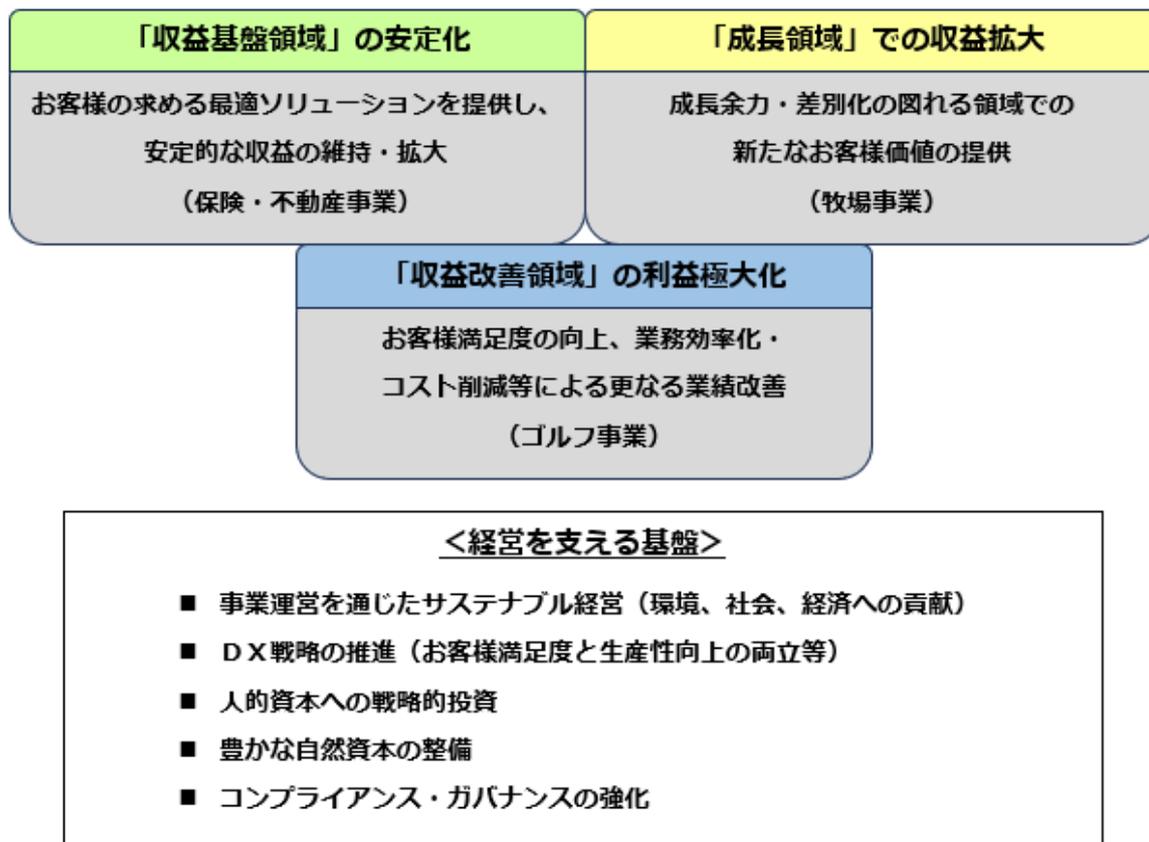
投資家・ステークホルダー等の期待に応え得る、
投資魅力のある企業への成長に資する経営基盤を確立する



2023年10月に策定した「**中期経営計画2026**」(2024年9月期～2026年9月期)は、「**成長モデルへの転換のための基盤整備**」を目指す第二フェーズと位置付けており、設立100周年に向けて「**更なる成長への挑戦**」を掲げた第三フェーズを見据えて、成長基盤の整備に取り組んでおります。

具体的には、引き続きインフレや人口減少等の外部環境変化への対応力を高めるとともに、新しいビジネスモデルによる更なる成長に不可欠となる**ブランド力向上**のための施設リニューアルや新商品開発等の先行投資、経営を支える基盤である人的資本への戦略的投資等を進めてまいります。

「中期経営計画2026」(第二フェーズ)の目指す姿
: ブランド価値向上による成長モデルへの転換のための 基盤整備



新中期経営計画「中期経営計画2026」の初年度となる当事業年度は、国際情勢や金融市場において先行き不透明な状況が続く中、国内ではインフレや人手不足が拡大し厳しい環境となりましたが、当社では「お客様目線」を第一に、「安心安全」かつ「快適」な商品・サービスのご提供とブランド価値向上に努め、営業収益5,480百万円(当初予想比+280百万円、修正予想比+80百万円)、営業利益571百万円(当初予想比+121百万円、修正予想比+41百万円)と、いずれも計画を大きく上回り、順調なスタートダッシュとなりました。

また、2024年9月には、千本松牧場のレストラン・売店棟の新築工事が完成し、2024年10月にリニューアルオープンいたしました。そして2025年4月には、旧施設の跡地に那須千本松牧場の開放感を楽しんでいただけるランドスケープが完成し、グランドオープンの予定です。同施設を、“**PURE MILK FARM**”をコンセプトとする千本松牧場ブランドの発信基地と位置付け、更なる成長モデルの構築に挑戦してまいります。

次期(2025年9月期)の業績見通しは、営業収益につきましては、インフレ拡大によるコスト上昇をカバーし得る更なる業容拡大を目指して5,800百万円(前期比320百万円増)を計画しております。営業利益につきましては、千本松牧場の施設リニューアルをはじめとする戦略投資により、償却負担の増加等が見込まれること等から550百万円(前期比21百万円減)を計画しており、経常利益は650百万円(前期比74百万円減)、当期純利益は450百万円(前期比141百万円増)を見込んでおります。

各事業において施策を迅速かつ着実に推し進めることにより、事業基盤及び収益基盤を拡大させ、更なる成長と企業価値向上に挑戦してまいります。

各部門の主要施策

事業部門・本社部門での主要施策における共通概念は以下のとおりであります。

- ① 事業環境の変化を踏まえた収益基盤の強化、成長領域への事業拡大
- ② お客様との対話を通じた「満足度の高い商品・サービスの提供」
- ③ DX推進による「お客様満足度」と「生産性(業務効率化)」の向上
- ④ 当社の最大の強みである「質の高いお客様基盤」の有効活用と更なる拡充
- ⑤ ビジネスモデル変革の原動力となる人材の育成
- ⑥ 「環境・社会・経済への貢献」と「企業価値向上」の両立

(保険事業)

リスク管理の専門家としての「プロの保険代理店」としてお客様に寄り添ったコンサルティングを推進し、以下を柱としたサステナブルな成長の実現を目指します。

- ◇お客様の様々なライフスタイルに応じたリスク管理パートナーとしての総合提案力の強化
- ◇教育制度の拡充による専門知識を持つスペシャリストの育成
- ◇お客様との信頼関係を基盤とした継続的な成長を実現し得る組織・体制の強化

(不動産事業)

テナント様・入居者様へ「安心安全」かつ「快適」な空間を提供いたします。

- ◇適切な設備更新・改修投資の実施によるビルグレード（利便性・快適性・安心安全）の維持向上
- ◇お客様満足度の向上を意識し、専門性を更に強化した業務体制の構築
- ◇優良資産の取得、ポートフォリオ見直し及び新規事業への展開による収益基盤の強化拡大

(千本松牧場)

広大な自然の中、ブランドコンセプト“**PURE MILK FARM**”をベースに、環境に優しい牧場づくりと「安心安全」な乳製品のご提供に努め、更なる成長を目指してまいります。

- ◇観光施設：2024年10月にリニューアルオープンしたレストラン・売店をブランド発信・情報発信基地として、お客様満足度・ブランド価値の更なる向上に取り組み
- ◇外販営業：日配品からの脱却、スイーツ等高付加価値商品への転換、ソフトクリーム外販店舗の出店拡大
- ◇酪農：「循環型酪農」の発展・高度化等、広大な自然資本を活用したSDGsへの取り組み継続

(ゴルフ事業)

ご来場者様により楽しく・心地よい時間をお過ごしいただけるよう、基本となる取り組みを深化させ、営業利益の黒字転換と安定的な利益基盤の構築を目指します。

- ◇コースコンディション、接遇、レストランメニュー等の一層の向上によるゴルフ場の魅力アップと、ご来場の楽しみが増すサービスや特典の充実
- ◇情報発信力を強化し、ゴルフ場の魅力や素晴らしさ、時節に応じたプランやサービス等を確りと伝え、ブランド価値の向上及びご来場動機の増進に取り組み

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当事業年度 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,126,955	2,399,821
売掛金	360,657	355,729
商品及び製品	127,290	130,159
仕掛品	7,779	7,830
原材料及び貯蔵品	59,237	58,428
前払費用	62,841	102,725
その他	37,481	67,651
貸倒引当金	△53	△35
流動資産合計	3,782,191	3,122,310
固定資産		
有形固定資産		
建物	11,877,185	12,597,007
減価償却累計額	△8,291,228	△8,481,986
建物(純額)	3,585,957	4,115,021
構築物	4,021,285	3,902,827
減価償却累計額	△3,669,671	△3,656,575
構築物(純額)	351,613	246,251
機械及び装置	1,444,506	1,358,170
減価償却累計額	△1,319,850	△1,227,192
機械及び装置(純額)	124,655	130,977
車両運搬具	156,632	159,337
減価償却累計額	△140,144	△143,761
車両運搬具(純額)	16,487	15,575
工具、器具及び備品	1,226,089	1,223,509
減価償却累計額	△869,518	△872,589
工具、器具及び備品(純額)	356,570	350,920
乳牛	247,752	234,828
減価償却累計額	△100,550	△90,090
乳牛(純額)	147,202	144,738
土地	8,226,987	9,147,406
コース勘定	729,640	749,140
立木	73,656	73,427
リース資産	203,760	185,344
減価償却累計額	△160,730	△155,048
リース資産(純額)	43,029	30,295
建設仮勘定	170,323	720,209
有形固定資産合計	13,826,125	15,723,964

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当事業年度 (2024年9月30日)
無形固定資産		
ソフトウェア	4,878	3,508
商標権	297	267
その他	25,904	21,083
無形固定資産合計	31,080	24,859
投資その他の資産		
投資有価証券	1,074,108	741,300
出資金	3,522	3,522
長期前払費用	13,416	56,820
前払年金費用	71,582	83,472
繰延税金資産	16,690	—
その他	58,239	43,436
貸倒引当金	△23,000	—
投資その他の資産合計	1,214,558	928,552
固定資産合計	15,071,764	16,677,376
資産合計	18,853,956	19,799,686
負債の部		
流動負債		
買掛金	109,505	101,860
リース債務	33,752	24,137
未払金	52,746	607,795
未払費用	259,336	297,821
未払法人税等	131,215	121,240
契約負債	61,294	69,068
前受金	105,385	90,112
保険会社勘定	134,355	79,572
預り金	29,646	16,523
1年内返済予定の長期借入金	100,000	120,800
賞与引当金	99,715	118,806
役員賞与引当金	12,375	19,000
圧縮未決算特別勘定	—	20,748
その他	111,120	84,346
流動負債合計	1,240,450	1,771,832
固定負債		
長期借入金	2,600,000	2,979,200
リース債務	79,306	63,810
退職給付引当金	34,510	28,210
役員退職慰労引当金	72,420	59,900
長期預り保証金	5,622,916	5,399,701
資産除去債務	99,728	103,355
繰延税金負債	—	13,821
固定負債合計	8,508,881	8,647,998
負債合計	9,749,331	10,419,831

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当事業年度 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,340,550	4,340,550
資本剰余金		
資本準備金	527,052	527,052
資本剰余金合計	527,052	527,052
利益剰余金		
利益準備金	112,517	120,894
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	3,864,653	4,080,574
利益剰余金合計	3,977,171	4,201,468
自己株式	△19,452	△19,452
株主資本合計	8,825,320	9,049,618
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	279,303	330,237
評価・換算差額等合計	279,303	330,237
純資産合計	9,104,624	9,379,855
負債純資産合計	18,853,956	19,799,686

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
営業収益	5,185,512	5,480,189
営業原価	3,968,370	4,184,855
営業総利益	1,217,142	1,295,333
一般管理費	689,623	723,979
営業利益	527,518	571,354
営業外収益		
受取利息	36	156
受取配当金	41,882	35,181
会員権消却益	201,185	125,908
その他	28,272	43,373
営業外収益合計	271,376	204,620
営業外費用		
支払利息	29,545	30,571
乳牛除売却損	19,670	16,257
その他	4,779	4,596
営業外費用合計	53,995	51,424
経常利益	744,899	724,549
特別利益		
固定資産売却益	12,290	177
投資有価証券売却益	—	144,303
補助金収入	—	20,748
特別利益合計	12,290	165,228
特別損失		
固定資産除売却損	9,027	22,252
減損損失	39,784	321,217
圧縮未決算特別勘定繰入額	—	20,748
特別損失合計	48,812	364,217
税引前当期純利益	708,377	525,560
法人税、住民税及び事業税	190,283	209,442
法人税等調整額	5,047	8,054
法人税等合計	195,331	217,497
当期純利益	513,045	308,063

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位: 千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金			自己株式	株主資本合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金	利益剰余金合計		
				繰越利益剰余金			
当期首残高	4,340,550	527,052	104,838	3,436,073	3,540,912	△19,325	8,389,189
当期変動額							
利益準備金の積立			7,678	△7,678	—		—
剰余金の配当				△76,787	△76,787		△76,787
当期純利益				513,045	513,045		513,045
自己株式の取得						△127	△127
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)							
当期変動額合計	—	—	7,678	428,579	436,258	△127	436,131
当期末残高	4,340,550	527,052	112,517	3,864,653	3,977,171	△19,452	8,825,320

	評価・換算差額等	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	
当期首残高	207,441	8,596,631
当期変動額		
利益準備金の積立		—
剰余金の配当		△76,787
当期純利益		513,045
自己株式の取得		△127
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	71,862	71,862
当期変動額合計	71,862	507,993
当期末残高	279,303	9,104,624

当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位: 千円)

	株主資本						自己株式	株主資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金			利益剰余金合計		
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金				
当期首残高	4,340,550	527,052	112,517	3,864,653	3,977,171	△19,452	8,825,320	
当期変動額								
利益準備金の積立			8,376	△8,376	—		—	
剰余金の配当				△83,765	△83,765		△83,765	
当期純利益				308,063	308,063		308,063	
自己株式の取得						—	—	
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)								
当期変動額合計	—	—	8,376	215,920	224,297	—	224,297	
当期末残高	4,340,550	527,052	120,894	4,080,574	4,201,468	△19,452	9,049,618	

	評価・換算差額等	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	
当期首残高	279,303	9,104,624
当期変動額		
利益準備金の積立		—
剰余金の配当		△83,765
当期純利益		308,063
自己株式の取得		—
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	50,933	50,933
当期変動額合計	50,933	275,230
当期末残高	330,237	9,379,855

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	708,377	525,560
減価償却費	339,755	379,807
減損損失	39,784	321,217
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△36	△23,017
賞与引当金の増減額 (△は減少)	17,432	19,090
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,905	6,625
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△11,340	△6,300
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△18,240	△12,520
受取利息及び受取配当金	△41,918	△35,338
会員権消却益	△201,185	△125,908
支払利息	29,545	30,571
固定資産除売却損益 (△は益)	△3,262	22,074
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△144,303
補助金収入	—	△20,748
売上債権の増減額 (△は増加)	△10,582	4,928
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△25,014	△2,109
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,726	△7,644
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	△12,500	16,933
未払費用の増減額 (△は減少)	26,470	38,494
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△1,276	△30,299
圧縮未決算特別勘定の増減額 (△は減少)	—	20,748
その他	26,246	△27,292
小計	859,434	950,568
利息及び配当金の受取額	41,911	35,334
利息の支払額	△29,187	△30,918
法人税等の支払額	△215,145	△220,056
営業活動によるキャッシュ・フロー	657,013	734,928
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,000,000	—
定期預金の払戻による収入	1,000,000	500,000
有形固定資産の取得による支出	△527,509	△2,274,966
有形固定資産の売却による収入	43,690	161,750
有形固定資産の除却による支出	—	△8,055
無形固定資産の取得による支出	△14,577	△859
投資有価証券の売却による収入	—	549,753
その他	△4,111	△8,197
投資活動によるキャッシュ・フロー	△502,507	△1,080,575
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	750,000
短期借入金返済による支出	—	△750,000
長期借入れによる収入	—	500,000
長期借入金返済による支出	△100,000	△100,000
入会預り保証金の返還による支出	△153,565	△110,941
リース債務の返済による支出	△32,435	△32,532
配当金の支払額	△76,383	△83,230
その他	△127	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△362,511	173,295
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△208,005	△172,351
現金及び現金同等物の期首残高	2,700,605	2,492,599
現金及び現金同等物の期末残高	2,492,599	2,320,248

(5) 財務諸表に関する注記事項
 (継続企業の前提に関する注記)
 該当事項はありません。

(会計方針の変更)
 該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)
 (耐用年数の変更)
 当事業年度において、千本松牧場のレストラン・売店棟のリニューアル計画を決定したことに伴い、新施設完成後に利用を終える固定資産の耐用年数を残存使用見込期間まで短縮しております。
 これにより、従来の方法に比べて、当事業年度の営業利益、経常利益及び税引前当期純利益はそれぞれ10,169千円減少しております

(持分法損益等)
 該当事項はありません。

(損益計算書に関する注記)
 減損損失

当事業年度において、当社は以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

用途	場所	種類	減損損失 (千円)
ゴルフ場	ホウライカントリー倶楽部 (栃木県那須塩原市)	建物	132,974
		構築物	99,001
		機械装置	22,510
		車両運搬具	1,170
		工具器具備品	14,404
		リース資産	2,708
		小計	272,769
	西那須野カントリー倶楽部 (栃木県那須塩原市)	建物	9,968
		構築物	4,782
		機械装置	21,688
		車両運搬具	125
		工具器具備品	3,100
		リース資産	8,782
		小計	48,447
合計			321,217

当社は、管理会計上の事業区分に基づく事業部を単位として、資産のグルーピングを行っております。
 ゴルフ場については収益性の低下により、減損損失を認識しました。
 ゴルフ場資産の回収可能価額は、正味売却価額により測定しており、不動産鑑定評価額により評価しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービス別に4つの事業本部を置いて事業活動を展開しており、「保険事業」「不動産事業」「千本松牧場」「ゴルフ事業」の4つを報告セグメントとしております。

「保険事業」は保険代理店業務、「不動産事業」は賃貸ビルの運営、「千本松牧場」は乳製品の製造販売、レストラン経営や土産品販売、「ゴルフ事業」はゴルフ場の運営を行っております。

2. 報告セグメントごとの営業収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの営業収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	財務諸表 計上額 (注) 2
	保険事業	不動産 事業	千本松牧場	ゴルフ事業	計		
営業収益							
顧客との契約から生じる収益	1,151,989	18,323	1,993,791	827,999	3,992,102	—	3,992,102
その他の収益(注) 3	—	1,193,409	—	—	1,193,409	—	1,193,409
外部顧客への営業収益	1,151,989	1,211,732	1,993,791	827,999	5,185,512	—	5,185,512
セグメント間の内部営業収益又は振替高	—	—	5,391	—	5,391	△5,391	—
計	1,151,989	1,211,732	1,999,182	827,999	5,190,903	△5,391	5,185,512
セグメント利益又は損失(△)	417,870	736,457	75,360	△12,546	1,217,142	△689,623	527,518
セグメント資産	360,114	10,645,587	1,666,946	1,614,253	14,286,902	4,567,054	18,853,956
その他の項目							
減価償却費	7,312	165,645	134,952	10,756	318,666	21,088	339,755
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	13,000	278,059	156,590	24,969	472,619	1,502	474,121

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△689,623千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額4,567,054千円、その他の項目の減価償却費の調整額21,088千円、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額1,502千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく不動産賃貸収入等であります。

当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位: 千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	財務諸表 計上額 (注) 2
	保険事業	不動産 事業	千本松牧場	ゴルフ事業	計		
営業収益							
顧客との契約から生じる収益	1,179,419	15,925	2,249,748	773,988	4,219,081	—	4,219,081
その他の収益(注) 3	—	1,261,107	—	—	1,261,107	—	1,261,107
外部顧客への営業収益	1,179,419	1,277,033	2,249,748	773,988	5,480,189	—	5,480,189
セグメント間の内部営業収益又は振替高	—	—	3,996	—	3,996	△3,996	—
計	1,179,419	1,277,033	2,253,744	773,988	5,484,185	△3,996	5,480,189
セグメント利益又は損失(△)	478,172	760,496	134,500	△77,836	1,295,333	△723,979	571,354
セグメント資産	327,680	12,184,740	2,463,604	1,272,442	16,248,467	3,551,219	19,799,686
その他の項目							
減価償却費	7,469	189,091	141,933	20,846	359,340	20,467	379,807
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	7,242	1,761,995	930,927	73,059	2,773,224	16,823	2,790,047

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△723,979千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額3,551,219千円、その他の項目の減価償却費の調整額20,467千円、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額16,823千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく不動産賃貸収入等があります。
4. 報告セグメントの変更等に関する事項

(固定資産の耐用年数の変更)

「会計上の見積りの変更」に記載のとおり、当事業年度において、千本松牧場のレストラン・売店棟のリニューアル計画を決定したことに伴い、新施設完成後に利用を終える固定資産の耐用年数を残存使用見込期間まで短縮しております。

これにより、従来の方法に比べて、当事業年度のセグメント利益が、「千本松牧場」で10,169千円減少しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位: 千円)

	保険事業	不動産事業	千本松牧場	ゴルフ事業	全社・消去	合計
減損損失	—	—	—	—	39,784	39,784

当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位: 千円)

	保険事業	不動産事業	千本松牧場	ゴルフ事業	全社・消去	合計
減損損失	—	—	—	321,217	—	321,217

(1株当たり情報)

項目	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
1株当たり純資産額	6,521円48銭	6,718円62銭
1株当たり当期純利益	367円48銭 なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。	220円66銭 なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
当期純利益 (千円)	513,045	308,063
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益 (千円)	513,045	308,063
普通株式の期中平均株式数 (株)	1,396,119	1,396,099

(重要な後発事象)

(株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更)

当社は、2024年10月31日開催の取締役会において、株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更を行うことを決議いたしました。詳細につきましては、本日公表の「株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更に関するお知らせ」をご覧ください。